

岡山ドクターヘリで搬送された患者さんへ

ドクターヘリ搬送患者の臨床疫学的研究

1. 研究の対象

岡山ドクターヘリで搬送された患者さんで、以下の全てに合致した方。

- ①本研究の参加について拒否しない者

2. 研究目的・方法

研究目的：当院は日本で最初にドクターヘリが運航開始され、岡山県内だけでなく中国、四国地方の救急医療に長く貢献して来ています。ドクターヘリの運航形式は各基地病院によって異なり、要請基準も定まったものはないためドクターヘリで搬送される患者は地域によって異なります。岡山県内では消防関係者のみならず、二次救急医療期間や一般の方々にも広く周知され、運航件数も安定期に入っていると云えます。今回、岡山ドクターヘリにおいて、ドクターヘリ搬送される患者の疫学的特徴を明らかにし、ドクターヘリが患者だけでなく、地域医療にどのように貢献しているかを明らかにすることを目的としています

方法：ドクターヘリの搬送記録、救急隊の搬送記録、診療録の情報から患者さんの疾患分類、ドクターヘリスタッフ接触時のバイタルサイン（意識レベル、血圧、脈拍、SpO₂、酸素投与量）、発生現場または搬送元病院の緯度経度、搬送先病院までの陸路での予測搬送時間(Google Map[®]を用いる)、ドクターヘリでの搬送に関わる時間（要請から離陸、離陸から現場着陸、現場着陸から患者接触、患者接触から現場離陸、現場離陸から搬送先病院着陸、搬送先病院着陸から搬送先病院到着）を調べ、ドクターヘリにより搬送された患者が、どの程度時間短縮効果を受けたか、その地域の消防がどの程度救急車運用時間を削減できたか明らかにします。また、地域ごと、疾患ごと、重症度ごとにその時間短縮効果に差があるか検討します。

研究期間：倫理委員会承認日 ～ 西暦 2020 年 7 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報について

利用するカルテ情報には、以下のものが含まれます。

診断名、ドクターヘリスタッフ接触時のバイタルサイン（意識レベル、血圧、脈拍、SpO₂、酸素投与量）、発生現場または搬送元病院の緯度経度、搬送先病院までの陸路での予測搬送時間(Google Map[®]を用いる)、ドクターヘリでの搬送に関わる時間（要請から離陸、離陸から現場着陸、現場着陸から患者接触、患者接触から現場離陸、現場離陸から搬送先病院着陸、搬送先病院着陸から搬送先病院到着）、等

本研究は、治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体資料は採取しません。個人が直接特定されうる情報は匿名化を行った後に解析致します。研究成果は論文などの発表から5年後に破棄致します。

4.利益相反

研究に必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断にひずみが起こりかねないことを利益相反状態といいます。利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。また本研究は研究責任者の教員研究費で行います。

研究への参加を希望されない方は、下記までご一報ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また患者さんに新たな費用負担、および謝礼はございません。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岡山県倉敷市松島 577

電話 086-462-1111

FAX 086-464-1044

E-mail:shiino@med.kawasaki-m.ac.jp

川崎医科大学 救急医学 権野 泰和 (研究責任者)